

第45回 信濃の国から 医療研 mail ニュース in長野 No.3

【発行】医療研組織委員会 事務局
2018年4月26日
TEL 03-3875-5871
FAX 03-3875-6270
Email:n-ask@irouren.or.jp

医療研でレポート発表しよう



医療研究集会は、参加者の皆さんの実践や、調査・研究活動に基づいたレポート発表を中心に、討論し、進めていきます。下記アドレスより、参加分科会の「問題提起」とレポート提出要項を確認し、各分科会宛先に応募してください。たくさんのレポートお待ちしております！

【提出期限】 2018年5月13日（日） 必着

【分科会一覧】

- ① 医療と福祉の実態を知り、医療・社会保障の在り方を考える
～いのちが守られる地域をつくろう～
 - ② 「地域包括ケア」～命と人権を支えるネットワークづくりを考える～
 - ③ 保健予防活動を地域住民とともに～健診、地域での健康づくりをすすめるため～
 - ④ 看護ケアの質 ～専門性を高める～
 - ⑤ 医療施設と在宅をつなぐケア～多職種連携で患者を支える～
 - ⑥ 看護・介護の喜びを伝えたい～後継者育成と最近の看護学生事情～
 - ⑦ 医療政策と看護労働
 - ⑧ 障がい児（者）の権利と心に寄り添う医療・福祉
～障害児（者）が生き生きと暮らせるサポート体制の在り方を考える～
 - ⑨ 「変わっていく精神科医療」～患者中心の医療に変化して～
 - ⑩ リハビリテーションの現場で求められるもの
 - ⑪ 患者のための臨床検査
 - ⑫ 患者・施設利用者の給食改善～治療食・介護食の充実をめざして～
 - ⑬ 職場の安全衛生と環境改善
 - ⑭ 施設介護
 - ⑮ 在宅介護
 - ⑯ 原発事故7年後の現状と放射線労働者の賃金、手当、労働条件について考える
 - ⑰ 薬と社会
 - ⑱ 私たちが大切にしたい保育～院内保育所の在り方～
 - ⑲ 動く分科会 ～松代大本営跡・無言館・別所温泉山本宣治の碑をめぐる～
- ※分科会ごとに、応募アドレスが分かれていますのでお気をつけください。

【応募アドレス】 http://www.irouren.or.jp/conference/2018/doc/bosyu2018_2.pdf

動く分科会紹介—松代大本営



松代象山地下壕案内板

今回、第 19 分科会「動く分科会—松代大本営・無言館・別所温泉・山本宣治の碑をめぐる」を担当している飯田民医労の伊壺一輝さんより、分科会の紹介文をいただきましたので掲載します。

全国の医労連の仲間の皆さんこんにちは。
第 45 回医療研究集会 in 長野のポスターや申し込み用紙などお手元に届きましたでしょうか。

今回は、「動く分科会」について少しふれたいと思います。

戦争を体験していない私たちが平和とは何かを考えると、体験を聞くこと、遺構を見られることは大きな体験であると思います。長野には、先の戦争で本土決戦の備え、大本営「戦争の指令を出すところ」、省庁、電話局、NHK、そして天皇・皇后を移して来るために作られた地下壕が存在します。地下壕を掘るために多くの朝鮮人が長野へ連れてこられました。そして多くの方が亡くなった場所でもあります。また、その時期は沖縄決戦の時期とも重なります。沖縄の闘いは、まさにこの穴を掘るための時間稼ぎであったと言っても言い過ぎではありません。沖縄では、ガマと呼ばれる自然洞窟に身を隠していた場所が多くありますが、人が生活するための穴ではありませんから穴の丈は低く、そして湿気などもあり、耐えがたいものであったでしょう。

ある方が、こう言っていました。「入る人が違うと、こうも違うものか」と。国民総玉砕まで闘うという狂気の沙汰を想像しながらご覧頂ければと思います。

もう一つは、一昨年大河ドラマの舞台となった真田の地にある、無言館と山本宣治碑を巡ります。この話はまた次回。



松代大本営地下壕入口

動く分科会に参加を希望される方への諸注意

地下壕内は、砂利などで凹凸していますので、参加を希望される方はスニーカーなどヒールのない靴での参加をお願いします。

- ◎ 地下壕内を見学する際に、それぞれで懐中電灯をお持ちになると、進入禁止区域を照らすのに便利かと思えます。
- ◎ 地下壕内は、外に比べ気温が低く涼しいです。湿気もありますので、薄手で十分だと思えますが、上着の用意をお願いします。

【問い合わせ先】 第 45 回医療研究全国集会 in 長野・組織委員会事務局

〒110-0013 東京都台東区入谷 1-9-5 日本医療労働会館 3 階

電話 03-3875-5871 本部担当/鎌倉・津吹・金子・武田・三浦雅信

医療研 in 長野 ホームページアドレス <http://www.irouren.or.jp/conference/2018/>